

令和8年度 マンスフェルト賞の公募について

1. 表彰の趣旨

コンスタント・ゲオルグ・ファン・マンスフェルトは1871年(明治4年)から3年間、熊本大学医学部の前身である古城医学所および病院で教鞭を執った。同年、18歳で入学した北里柴三郎はオランダ語に非常に熱心であったことからマンスフェルトの目にとまり、熱心な指導を受け、その教育理念にこころを動かされ、真理を追究していく学問として医学に興味を持つに至った。熊本で教鞭をとった3年間の間に、日本細菌学の父 北里柴三郎、日本産婦人科学の始祖 浜田玄達、東京帝国大学医科大学の衛生学初代教授 緒方正規など、日本の医学を背負うことになる多くの人材を育てた。マンスフェルトは教育方針として「教師は学校にいて直ちに学生を医者にしたてるものではない。学生をしてその研究上、行くべき道を指示し、且つ学生自ら研究すべき方法を教えるものである」と述べている。本賞はマンスフェルトの教育理念にのっとり、優れた研究業績をあげた若手医師を顕彰することにより、本院における将来の医師の育成に資することを目的とし、以下の要領で募集を行う。

2. 応募資格

熊本大学所属(※)であって医師免許又は歯科医師免許取得5年以内の者

※熊本大学病院群卒後臨床研修プログラム及び熊本大学病院専門研修プログラムに所属する者を含む

※「医師又は歯科医師免許取得5年以内の者」とは、「令和4年3月から令和8年3月まで」に医師免許又は歯科医師免許を取得した者とする。

3. 応募受付期間

令和8年9月1日(火)～10月30日(金)

4. 応募方法

所定の申請用紙に記入し、総務課 卒後教育担当へ提出する。なお、本募集周知のため、なるべく異なる講座からの申請を望んでいることから、同一講座からの申請については、1件のみとする。(同一講座には関連する寄附講座も含む)

5. 副賞

最優秀賞1件 10万円、優秀賞2件 5万円とし、3件程度を採択予定。(副賞は熊杏会より提供予定)

6. 選考

病院長及び副病院長(医師及び歯科医師)から構成されるマンスフェルト賞選考委員会が申請書類により選考、決定する。

7. 公募スケジュール

令和8年9月1日(火) 公募開始
令和8年10月30日(金) 応募締切
令和8年11月上旬～12月中旬 書面審査
令和8年12月25日(金)まで 結果通知

8. 選考結果の通知

令和8年12月25日(金)までに応募者及び推薦者へ文書で選考結果を通知する。
受賞者は、熊本大学病院、熊杏会ホームページ等に掲載予定。

9. 注意事項

- (1) 推薦者は、熊本大学病院 教授又はこれに相当する者とする。
- (2) 申請書の業績欄に、論文、学会発表、受賞歴を記載すること。
- (3) 受賞者は令和9年2月に開催される授賞式へ出席すること。
- (4) 受賞者は、熊杏会会報誌に寄稿すること。

10. 提出先

熊本大学病院事務部 総務課卒後教育担当
TEL 096-373-5994
E-mail:iys-kensyu@jimu.kumamoto-u.ac.jp
※持参の場合 同担当窓口(本院管理棟3階)
(土・日・祝日を除く平日の9:00～17:00の時間内)

11. その他

公募要領及び申請書等は、熊本大学病院、熊杏会のホームページ上で閲覧できます。
熊本大学病院:<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/education/>
熊杏会:<https://dousoukai.site/yukyokai/>